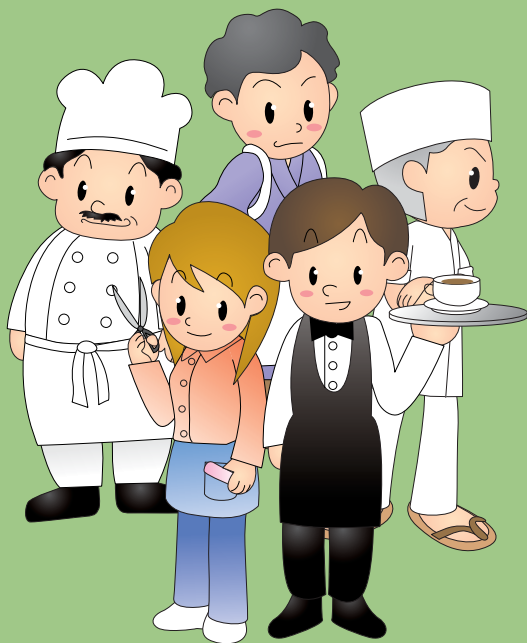


うつらない！ ● うつさない！

生衛業の感染症予防対策



財団法人全国生活衛生営業指導センター

<http://www.seiei.or.jp>

日ごろの取り組みが大事！

私たちの身の回りには、毎年流行する「インフルエンザ」や、最近話題になった「ノロウィルス」、「SARS」や今注意が喚起されている新型インフルエンザなど、様々な感染症があります。本冊子では生衛業にたずさわる経営者や従業員の皆様が日ごろから気をつけたい簡単な予防対策をあげてみました。

うつらない！うつさない！

皆様のお店や職場はたくさんのお客様がご利用されます。お客様から感染症をもらわないように、また、自身の感染症をお客様にうつさないように注意することが大切です。

感染症を発生させない！

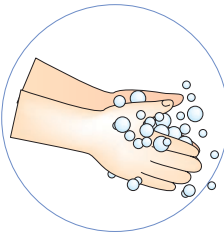
常にお店や従業員の清潔を心がけましょう。不潔なお店には感染症をひき起こす細菌やウィルスがいっぱい！



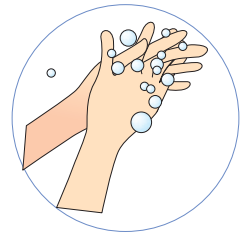
予防のために実践しよう！

仕事の前後にはしっかり手洗い

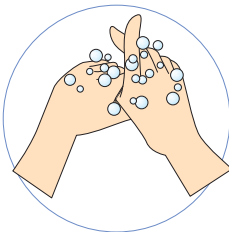
きれいに見える手でも、病原体はたくさんついています。手洗いで細菌やウイルスは汚れと一緒に洗い流され、手指の消毒により、その数はもっと減ります。仕事の前後にはしっかり手洗いすることを習慣付けましょう。



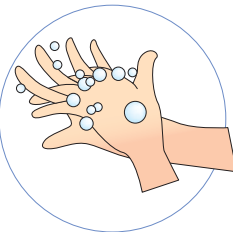
手のひらを洗う。



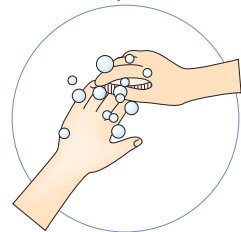
手の甲を伸ばすように洗う。



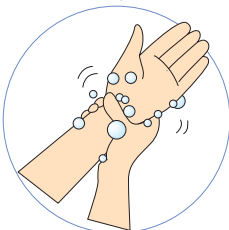
親指と手のひらをねじるように洗う。



指の間を洗う。



指先、爪先を洗う。



手首を洗う。



ペーパータオルで拭く。

お店には手洗い場所は確保されていますか？

一緒に必ずうがい

口や鼻、ノドの粘膜は、病原体が侵入しやすく、多くは侵入経路(感染ルート)の入口となります。そのため感染予防のためには、手洗いはもちろんですが、うがいも大切です。



お店にはうがいができる場所が
ありますか？

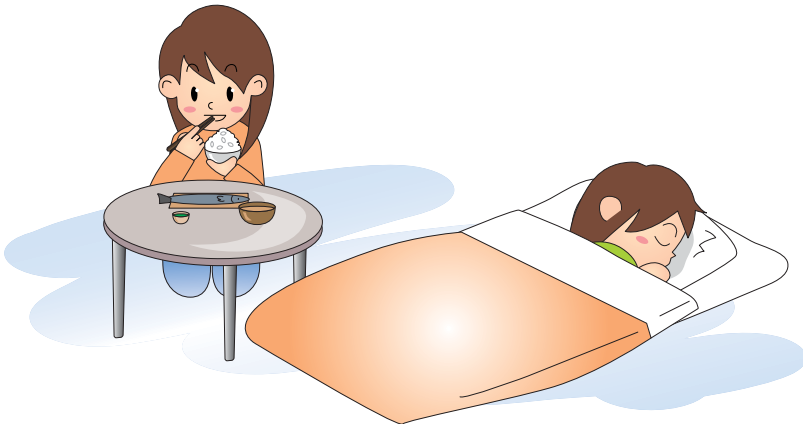
店で複数の人がふれる場所は清潔に

- ・ドアノブ、水道の蛇口、電気スイッチなどはアルコールまたは家庭用の塩素系漂白剤を水で薄めたもので拭くことで消毒できます。
- ・トイレの清掃、下痢やおう吐物などを処理する場合は、ゴム手袋、マスクを着用し、漂白剤などの消毒剤でしっかり消毒しましょう。



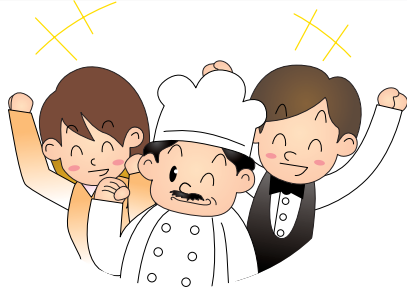
自分や家族の健康管理

疲労などで体力が低下した時には病気にかかりやすくなります。食事や休息をきちんととって、病気に負けない体力を維持しましょう。



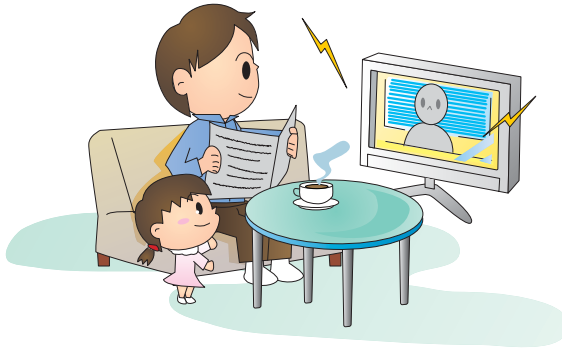
従業員の健康管理

- ・従業員の健康状態に注意を払いましょう。
- ・体調不良の従業員の方には休養するよう対処しましょう。また、病院等での診察を受けるように指導しましょう。



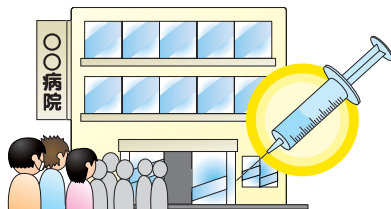
感染症の情報をチェック

人から人へ感染する感染症は、地域ごとに流行する傾向があります。テレビなどの報道、インターネットなどで周辺地域の感染症の流行情報に注意しましょう。



予防接種

インフルエンザの予防接種については、医療機関に相談しましょう。なお、高齢者の方（原則65歳以上）がインフルエンザの予防接種を希望する場合は、予防接種法（定期の予防接種）の対象者として接種を受けることができます。



感染症の感染ルート

感染した人や動物の分泌液や血液、排泄物などには細菌やウイルスなどの病原体が多く含まれています。そして、それらが人に取り込まれて、人は感染症にかかります。その病原体が取り込まれるルートには、大きく分けると3つのルートがあります。

1

接触感染

最も頻度の高い感染様式です。手洗いが徹底されなかったり、手袋が交換されなかったりすると起こります。

2

飛沫感染

感染源である人が、せきやくしゃみ、会話などをすることによって生じた病原体が飛び散り、それらが体内にとり込まれることで感染します。

3

空気感染

空気中に浮遊する病原体を吸入することによって感染する場合があります。



その他の感染ルート

物質媒介型感染

汚染された食物、水、血液、装置、器具などによって伝播される感染ルートです。

昆虫媒介感染

蚊・ハエ・ネズミなどの害虫が伝播することにより起こる感染症です。